



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ/ジョナサンB.マジリアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ/西澤正雄会長

【本日の例会】2004年2月13日 第827回例会
夜間例会/レディス・デイ (18:00～20:00)
 ～今夜はぱっと明るくジャズスウィングで楽しみましょう!!～
 演奏 North West Jazz Band
 ドラム 小西 勝 氏
 ピアノ 大崎 龍 治 氏
 バス 佐々木 良 廣 氏
 ヴォーカル 野間 瞳 氏
 (演奏曲目)
 酒とバラの日々, My funny Valentine, コルコバード,
 テネシー・ワルツ, Fly me to the moon, 慕情, 枯葉,
 Misty, ルート66

【先週報告】2月6日 第826回例会

◎卓話「私の研究」

米山奨学生
 国際仏教大学大学院生 李 祥 範 君
 (カウンセラー土屋東一会員)



◎会長報告

- ①2月3日(火)の千代田グループ・Cグループ(芝、築地、新南、日本橋西、シティ日本橋RC) IMが 無事終わりました。ご参加の皆様お疲れさまでした。
- ②2月9日(月)は麻布RCのチャーターナイトです。当クラブから受付、会場整理で協力します。

◎幹事報告

2月12日(木)新会員セミナーに登録申込みされた会員は忘れずに参加下さい。

◎雑誌委員会報告(柴本委員長)

『ロータリーの友』2月号では、冒険家大場満郎さんの「南極・北極ひとりたび—人間の限界への挑戦—」で自然に向かい恐れ、謙虚、感謝に心がけることが大切といった記事や、RC皆勤バッジの改良への提案などタメになる記事満載、是非ご覧下さい。

また、地区雑誌委員会のアンケート調査によれば国内12万部、全世界50万部も発行されている「ロータリーの友」誌を全部読む8%、半分読む51%の回答、是非一読を。

◎プログラム委員会報告(石坂委員長)

2月13日(金)夜間例会(レディスデー)には是非奥様をお誘いの上ご同伴でご参加下さい。

お知らせ

2004～2005年度版「全日本RC会員名簿」「R手帳」の発行

「全日本RC会員名簿」(CD-ROM) 1枚 ¥8,925.-

「R手帳」 1部 ¥630.-

※申込みは2月20日(金)までに事務局へお願いします。



2月6日 /4件 9,000円
 2003～2004年 累計 906,400円
 多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

土屋東一/李さん卓話を宜しくお願い致します。村山公士/先日のIMでは皆様ご苦勞様でした。石井謙次/週末は京都にカミさんと旅行です。武内光晴/吉田用親さんから頂きました年賀状が見事5等に当たりました。今年も宜しくお願い致します。

地区第3回クラブ米山奨学委員会(報告)

2004年1月20日(火)午後3時～5時 於京王プラザホテル
 内容は、「米山記念奨学会の現状」について・ロータリー米山記念奨学会理事 矢野洋四朗(東京八王子RC)氏から、「日本への留学生事情」について・ロータリー米山記念奨学会常務理事 宮崎幸雄(東京RC)氏から、「米山増進の御願い」について・米山増進委員長 吉岡良一(東京八王子西RC)氏から、それぞれ説明がなされ、次いで「米山奨学生となって」と題する講演を、韓国からの留学生・黄セミさんが行い、最後に中谷良平(東京南RC)氏が、「カウンセラーと奨学生」と題して、カウンセラーの立場からの経験談を述べ、終了した。

地区第2回ロータリー財団委員長会議(報告)

2004年1月28日午後2時30分～5時
 於ホテルセンチュリーハイアット東京

会議の内容は次の通りでした。

- ①シェア・システムについて・ロータリー財団委員長 川尻政輝氏
- ②セバスチャン・サルガド写真展の報告(入場者数22,000名、全82クラブから寄付あり)、R財団の前年度財務について(約4億3900万ドル、日本の貢献度は12.8%)
 ロータリー財団カウンセラー 岩井敏氏
- ③講演「ポリオについて」 ポリオ会会員・村島宏氏
- ④ポリオ撲滅特別募金について
 ポリオプラス委員長 紅林太氏
- ⑤国際親善奨学生の選考試験について
 財団奨学委員長 伊藤昭治氏
- ⑥寄付増進の御願いについて・年次寄付委員長 馬場一廣氏
 及び、恒久基金・大口寄付委員長 松尾通氏
- ⑦地区補助金の活用事例について・補助金委員長 福井衛氏
- ⑧その他の委員会報告について・GSE委員長 永長隆徳氏
 及び、世界平和奨学副委員長 福島和義氏

◎出席報告

会員63名/出席40名・欠席23名(出席規定免除者7名)
 ビジター2名、ゲスト1名(米山奨学生)

堀辰雄が聴いた名曲名演

◇残された手帳から文学とのかかわり探る◇

山下 忠治

「風立ちぬ」「美しい村」などで知られる作家、堀辰雄。繊細で詩情あふれる小説で知られるが、実は音楽にも造詣の深い作家だった。堀のファンで、音楽好きでもある私はこの事実気づき、愛聴した音楽や、文学とのかかわりを探っている。

153曲のレコード目録

一冊の手帳との出会いがきっかけだった。三十ページにわたり、堀が自分の聴いたSPレコードを、万年筆で記した目録である。百五十三曲に及ぶクラシック音楽のレコードが作曲者、曲名、演奏者、レコード番号順に書き込まれていた。軽井沢の堀辰雄文学記念館で公開されずに眠っていた。

昨年四月、堀の没後五十年を機に記念館を訪れ、学芸員に気になっていたことを尋ねた。「『木の十字架』という作品にフランクのソナタとありますが、バイオリンがジャック・ティボー、ピアノはアルフレッド・コルトーによる演奏を、堀は聴いたのでしょうか。」すると音楽に詳しいと思ったのか「実は全部を読める人がいないのですが……」と前出の手帳を見せてくれたのだ。

私は二日間かけてノートに書き写し、早速解説にかかった。これは神が私に与えた仕事のように思えた。現在は会計事務所を経営する身だが、かつてバイオリニストを夢見た。堀の文学書も何度も買い直すほど好きで、全集も二種類、持っている。

手帳を読み解くのは面白い作業だった。ピアノ・ソナタ「トルコ行進曲付き」が洋琴奏鳴曲「土耳其行進曲付き」、バイオリンは「提琴」と昔の表記で書かれている。「マタイ受難曲」が「馬太傳受難樂」と草書体で走り書きされていたり、伊、英、仏三カ国語のミックスでひとつの曲名が書かれていることもあった。仕事が終わる夕方から取りかかったが、各国の辞書や音楽事典など数十冊の本と首っ引きで、気がつくと思け方になっていたこともある。

SPレコードの特定も困難だった。昔のレコード会社の目録や、収集家の著書を古書店で探しあて、ようやく大半が判明した。今も判断しきれないのは、ヘンデルの項に「田園交響曲」とあること。ベートーベンの「田園」のことだと思ったが、一九四〇年のビクターの目録に確かに「ヘンデル 聖譚曲『救世主』—田園交響曲」とある。これは、オラトリオ「メサイア」のことで、田園交響曲との接点はないと思うのだが……。

手帳にはグレゴリオ聖歌からラヴェルまでがほぼ年代順に並び、四十五人の作曲家が登場する。あたかも小音楽史を縦断するようだ。名曲、名演ぞろいである。夫人の多恵子さんの随筆によると、堀が熱心にレコードを収集していたのは一九三九年ごろだという。

作品との関連を想像

冒頭はバッハの「ミサ曲ロ短調」「マタイ受難曲」、モーツァルトの「レクイエム」。三曲の宗教音楽で始まっている。レコードの発売年から、手帳が書かれたのは一九四二年ごろと思われる。堀は師と仰ぐ芥川龍之介を二七年、婚約者の矢野綾子を三五年、堀を慕った詩人の立原道造を三九年に亡くしている。冒頭の三曲は、三人への深い鎮魂の思いから特に書き記したのではないかと私は推量する。

コクトー、アポリネール、ラディゲなどフランス文学に傾倒した堀だが、音楽でもセザール・フランク、フォーレ、ドビュッシーなど近代フランス音楽をよく聴いたようだ。学究的姿勢も強く、ブラームスの「アルト・ラブソディ」を歌うオネーギンの美声に耳を傾けながら、その歌詞の元となったゲーテの詩をドイツ語で読み、翻訳したりしている。

堀作品と音楽とのつながりも考え始めた。文章構造はバッハ

のフーガやフランクの一つのメロディーを繰り返しながら発展させる循環形式と通じるものがあるし、文章表現にはショパンの影響を感じる。それもポロネーズやワルツではなく、ノクターンに。

「風立ちぬ」の冒頭、「私」と「節子」が白樺の木陰で過ごす場面で、私の耳にはショパンのノクターン変ニ長調作品二七の二が聞こえてくるような気がする。病に苦しむ二人の「いぎ生きめやも」という生きる決意と歓喜を、三度の和音が暗示しつつ空のかなたへ消えていく。曲の中間部にある裝飾音は、風が白樺を揺らす情景や、二人の一抹の不安に通じているようでもある。

生誕百年で研究成果

堀の日記には「ショパンの二十四の前奏曲の研究に着手す」という一文がある。アンドレ・ジイドのショパン観についての記述も残っており、ショパンに強い関心を抱いていたのは事実である。

今年が堀辰雄の生誕百年である。誕生日の十二月二十八日までには、研究成果といえるものを形にしたい。

(日本経済新聞 2004年1月21日(水)に掲載)

2004年2月定例理事会議事録

日時 2月6日(金) 例会後13:50~15:00

場所 東京全日空ホテル 1Fかげろう

出席者 西澤(正)、小杉(真)、入沢、開発、立林、土屋、圓谷、吉田、新保、佐々木、村山、庄司 (敬称略・順不同)

決議事項

- 100周年記念事業港区アートフェスタの件
準備委員会の提案通り承認。
- 当クラブのホームページをロータリーの友のホームページとリンクすることを承認。
- 忘年家族会費不足分(193,459円)は、一般会計例会費より繰入ることを承認。
- 火曜会について下記の通り承認。
①3月、4月の火曜会会場は「Wolfgang・Puck Café」
(アーク森ビル1F)
②3月の火曜会(3/2)出席はメイクアップ扱いとする。
- 米山奨学生・李祥範君より奨学期間(2004.3迄)を1年延長申し出の件
奨学金の半分(900,000円)をクラブが負担することになり、現状では米山特別寄付の募金が困難なのでお断りすることを承認。
李さんの奨学期間が3月で終了するので、お饞別(100,000円)を贈ることを承認。

報告事項

- 会長報告
①欠席会員の会費の取り扱いについて
②RI会長賞・広報賞について
- 副会長報告/クラブ名称についてのアンケート回答の件
- 幹事報告
①第5回クラブ協議会(4/16)開催方法について(フォーラム形式とする)
②千代田グループ・CグループIM (2/3)の件(当クラブ出席者16名)
③地区大会(2/26~27)登録者38名
- 会計報告/1月末
- SAA委員会報告(佐々木委員長) / 麻布RCチャーターナイトの対応について/応援22名
- 国際奉仕委員会報告(土屋委員長)
①イラン地震災害義捐金 42,000円は日本赤十字社を通して寄付。
②2005~2006年度R財団奨学生 2名推薦の件

【次週予告】2月20日 第828回例会

ロータリー創立99周年記念例会

(1905年2月23日シカゴRC創立)

◎卓話予定

「クラブを変えるエネルギー」

元会長 大日方 真君

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄〔副会長〕小杉真史〔幹事〕村山公士〔会報委員長〕石井謙次〔今週の担当〕福島賢哉
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111